

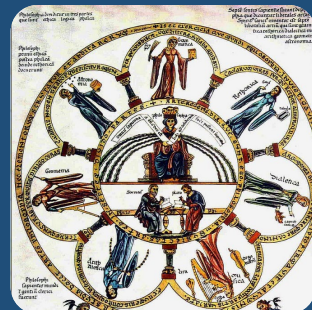
中部大学シンポジウム（主催：中部高等学術研究所）

21世紀のリベラルアーツ

2019年12月14日（土）

13:30~17:00（13:00開場）

於 中部大学 22号館 2215教室



パネリスト

藤垣 裕子

東京大学大学院
総合文化研究科教授

専門は科学技術社会論。
主著に『専門知と公共性』
（2003）、『大人になるためのリベラルアーツ』（共著, 2016）、『科学者の社会的責任』（2018）, 『東大教授が考えるあたらしい教養』（共著, 2019）など。

國分功一郎

東京工業大学リベラル
アーツ研究教育院教授

専門は哲学・現代思想。
主著に『スピノザの方法』
（2011）, 『暇と退屈の倫理学』
（2011, 紀伊国屋じんぶん大賞）, 『ドゥルーズの哲学原理』
（2013）, 『中動態の世界』
（2017, 小林秀雄賞）など。

隠岐さや香

名古屋大学大学院
経済学研究科教授

専門は科学史・科学技術論。
主著に『科学アカデミーと「有用な科学」』（2011, サントリー学芸賞）, 『科学の真理は永遠に不変なのだろうか』（共著, 2013）, 『文系と理系はなぜ分かれたのか』（2018）など。



司会 **石井洋二郎**

中部大学人文学部教授・国際人間学研究科長。東京大学名誉教授。

専門はフランス文学。主著に『ロートレアモン 越境と創造』（2008, 芸術選奨文部科学大臣賞）, 『フランス的思考』（2010）, 『時代を「写した」男 ナダール』（2017）など。

参加希望の方は、下記問い合わせ先へメール、電話、FAXにてお申込ください。

問い合わせ先：中部高等学術研究所 chukoken@office.chubu.ac.jp

TEL 0568-51-9959 FAX 0568-51-4736

中部大学 シンポジウム

21世紀のリベラルアーツ

「リベラルアーツニ一般教養」という図式はもう古い！

知識と人間の関係が根本的に変容した現在，これからの大学教育に求められる新しいリベラルアーツとは何か？

「21世紀のリベラルアーツ」をテーマに，当代きっての論客たちが文系・理系の枠を越えて熱く語り合う注目のシンポジウム

プログラム

13:30～13:40 主催校挨拶：石原修(中部大学 学長)

安藤隆穂(中部高等学術研究所教授)

13:40～13:50 趣旨説明 :石井洋二郎

13:55～14:05 イントロダクション「リベラルアーツ概念の歴史的変遷」:

玉田敦子(中部大学人文学部教授)

14:10～14:40 藤垣裕子「専門家のためのリベラルアーツ — 後期教養教育の試みと市民性教育」

14:45～15:15 國分功一郎「問うとはそもそもどういうことで，答えとはいったい何なのか？ — リベラルアーツと哲学」

15:20～15:50 隠岐さや香「リベラルアーツと文系・理系 — 何がどこまで共有されるべきなのか」

15:50～16:05 休憩(質問用紙記入)

16:10～17:00 パネルディスカッション

17:00 閉会

アクセス方法



中部大学 22号館2215教室

● JR中央本線「神領(じんりょう)」駅下車
(名古屋駅より「普通」列車で約26分・千種駅からは同15分。)

● 神領駅北口「中部大学バスのりば」から、名鉄バスで約10分。バスは現金、もしくは、交通系ICカードでご利用いただけます。

● 神領駅発の名鉄バス、土曜12時台は00分 20分 30分 40分、13時台は00分、15分がごぞいます。

● 高蔵寺駅にはタクシー乗り場があります。

● 神領/高蔵寺駅周辺 タクシー電話番号
名鉄タクシー 0568-81-3101
近鉄タクシー 0568-51-3550